

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 生涯学習課

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回茅野市社会教育委員の会議		
開 催 日 時	令和5年11月22日（水）午前10時00分～午前11時50分		
開 催 場 所	八ヶ岳総合博物館閲覧室		
出 席 者	矢崎美知子委員（委員長）、大作公明委員（副委員長）、小倉誠司委員、竹内郁子委員、宮坂章委員、矢崎智義委員 上田佳秋生涯学習部長、竹内こずえ生涯学習課長、武居直樹生涯学習係長、小坂秀輔生涯学習係主査、両角勝元中央公民館長、両角香代教育係長、五味一男図書館長、小池岳史文化財課長、柳川英司文化財係長、山科哲尖石縄文考古館係長、両角徹生八ヶ岳総合博物館長、正木美香博物館係長		
欠 席 者	市川純章委員、北澤孝郎委員、中村正幸委員 山田利幸教育長、北澤ゆき子図書館係長、鵜飼幸雄神長官守矢史料館長		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍 聴 者 の 数	0 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
生涯学習課長	1 開会 皆さん、おはようございます。今朝はちょっとひんやり空気ですが、すがすがしい日になりました。皆さんお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。本日の会議の進行を務めさせていただきます生涯学習課の竹内と申します。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、ただいまから令和5年度第2回社会教育委員の会議を開会いたします。ここで、教育長が挨拶させていただくところなのですが、所用がございまして、生涯学習部長からご挨拶させていただきます。		
生涯学習部長	2 生涯学習部長あいさつ 皆さん、おはようございます。本日、山田教育長、所用のために欠席させていただいております。よろしくお願いいたします。前回の第1回の会議は、5月の末だったかと思います。それからちょうど半年ぐらいになるわけですが、今日はよろしくお願いいたします。私、本日久しぶりにこの八ヶ岳総合博物館に来させていただいて、創意工夫展を見させていただいたのですが、力作ぞろいで感動して、時間を忘れて見てしまっておりました。本当に少しずつコロナが開けて、こういった社会教育活動というのですか、様々な文化芸術活動の発表の場ににぎわいが戻ってきているというところを感じ取っております。そんなところで、また半年ぶりの委員の会議となりますけれど、今日もご審議いただきますようよろしくお願いいたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。		

委員長	3 委員長あいさつ 皆さま、こんにちは。お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。10月の諏訪地区社会教育委員連絡協議会の研修視察で下諏訪町の星ヶ塔黒曜石採掘跡に見学に行って参りました。縄文時代晩期ということで大変興味を持って見させていただいて、またそこで案内をしてくださった先生のとても熱い説明をお聞きして、さらに感動しました。古代に思いをはせて、またロマンを感じて、地元の方の誇りを感じて参りました。茅野市にも世界に誇れる国宝がありますので同じ思いを感じとることができました。本日は八ヶ岳総合博物館内の見学視察をさせていただきます。私は蝶の展示を今年の冬に見させていただきました。今日も施設見学や展示など楽しみにしております。館長さんにはお世話になりますが、よろしくお願いいたします。それでは本日も会議事項のご審議、よろしくお願いいたします
生涯学習係長	4 会議事項 (1) 審議会の公開について (審議に先立ち、審議会の公開について事務局から説明。) ～資料1の説明～ 本日の会議の公開、議事録の公開について説明及び確認を行いました。 非公開基準に該当する項目はないため、当会議を公開とし、議事録に関しては、委員名を表示せずにホームページで公開しています。 (承認)
事務局（担当各課）	(2) 茅野市社会教育推進計画の進捗状況について ・計画全体の進捗状況と総合評価について (2022年度 分野別計画進捗等報告書について、事務局（担当各課）から説明)
委員長	ご意見ご質問等ありますでしょうか。
委員	直接この結果ではないのですが、11月頭の長野日報に財政が圧迫しているの、いろんな施策の見直しをしている。その中に、いくつも社会教育関係の施策が入っているのですが、その人口動向を見てみると、20年後には茅野市が1万人減るという状況を考えると、どんどん財政が厳しくなっていくんですね。そんな中で、長期に見たときに、社会教育をどんなふうにしていくのか。ということも考えていかなくてはいけないのかなと思いますがいかがでしょうか。
生涯学習部長	そうですね人口減少というのは、避けて通れない課題だと思います。これはどこの自治体でもそうだと思いますけれども、茅野市の場合は、行財政改革ということで、議論を進めさせていただいております。 社会教育の部分で申しますと、よく出ていたところは、小泉山体験の森創造委員会、それと多留姫文学自然の里創造委員会の部分ですかね。こちらについては、皆さん、市民活動団体の皆様との関わりの見直しというところ

	ころが大きな論点になっております。市の方から、支援している、支援金額を落とすという議論ではなくて、むしろ、その団体と行政との関わり方、どこまでの、何ていうんですか、スリム化が図れるか。それとともに、持続可能な取組、今後これを引き続きやっていくにあたっての持続可能な方法を議論していきましょうというような段階であります。そういったことから、少しずつ、やり方を見直して、行財政の改革を進めて、少しでも財政が圧迫しないようなやり方を模索しているというような段階かと思います。今日のような社会教育委員の会議も含めてですね。行政とそういった市民活動の皆様との対話をしながらですね。今後、短期的には、2年間ほど中長期的には3年から5年ぐらいで、結論づけをしていこうというような方向で今進めさせていただいているものですから、今後の社会教育全体の方向とすれば、行政とこういった市民の皆様との対話を持って進めさせていただくというところが基本かと思っております。ですので、明らかにどんどんお金を、減らしていこうということのためではないというふうにとらえていただきたいと思います。当然支出を減らすことも必要ですし、もう一つは、今度は収入確保の部分も一緒になって考えていく。そんなところで、取組を進めさせていただいているところでございます。
委員	あまり心配しなくてもいいということでもいいんですね。
生涯学習部長	なんて言うんですかね。大船に乗った気持ちでいてくれということはなかなか、申し上げづらいのですが、丁寧に議論をしながらですね。進めさせていただくということでご理解をいただければと思っております。
委員	一つだけよろしいでしょうか。尖石縄文考古館ですが、インバウンドで外国人のお客様が多いというお話でしたが、ガイドに関してヘッドホンなど何か対応をしているのでしょうか。
文化財課長	展示コーナーに日本語と英語の2か国語の表記があります。特に専属のガイドがいるとか、ヘッドホンで何々語を選ぶというものはありません。
委員	これからもそういう予定はないですよ。なかなか予算がつかないですよ。
文化財課長	考古館係長が英語できます。ガイドもよくしています。あと、英語と中国語、韓国語のリーフレットがあり、それをお渡ししております。
委員	はい。わかりました。やっぱり生の解説というのが、興味が湧いてとても良いと思いますのでそういったこともあるのかと思ひまして、お聞きしました。
文化財課長	いい人がいればご紹介ください。ちの縄文遺産市民ガイド養成講座と一緒にやりたいと思います。

委員長	はい。他にございますか。はい。どうぞ。
委員	尖石縄文考古館の方にお聞きしたいのですが、尖石縄文考古館は冬季もほとんど開館されていますよね。冬の間のお客様はどんな感じなのでしょう。
文化財課長	高冷地ですので、道が凍ると、数がガーンと落ちます。冬季ですと昨年1月が1,225人、夏季ですと月9,000人ですね。かなり落ちます。ですが、逆にゆっくり見られてよかったという方もいます。繁忙期というか、混雑時期をわざと避けて来る方もいらっしゃいます。今日は、誰もいなくて静かな中で見る事ができたと言って帰る方もいらっしゃいます。
委員	スタッフは館内に何人くらいいらっしゃるのですか。
文化財課長	考古館の事務室に8人います。受付と喫茶は、業者委託をしておりますので、市の職員とすると8名です。
委員	はい。ありがとうございます。
委員長	他にございますか。
委員	神長官守矢史料館についてお聞きしたいのですが、今年、大河にまつわる展示をしたと言っておりましたが、来年も大河に関する展示はやられるのでしょうか。
文化財係長	守矢文書の中で、平安時代に関するものがまったくございませんので、今、困っています。
委員	先ほど尖石縄文考古館の話で、市民の入館者が非常に少ないという話が出ました。県外から来たり、海外から来たりすることはいいことだと思うのですが、市民にとって、利用が少ないことがあれば、例えば入館料を上げるとか、少しでも財政に寄与するとかっていうことは、ないでしょうか。
文化財課長	考古館の入館料が、大人が500円でワンコイン、非常に来館しやすい価格設定だと思っていますが、中には500円でも高いという方もいるのではないかと思います。大人2人、子ども2人の4人家族となると2,000円近くになるので、上げると足が遠のく人も出てくるのかなという気もします。私は今のままがよいのですが、もちろん100円でも上げればかなり違います。年間5万人来ています。そのうち減免の方、無料の方もいますが、100万を超える売り上げがありますので、入館料を上げればかなり違ってきますけれども、どうなのでしょうかとこのところでは。
委員	尖石関係とか、神長官の関係とか、本当に観光で来る方も、多いと思うんですよね。観光施設とすれば、500円でなくてもいいのかなと感じます。600

生涯学習部長	円で入らないかという、市民が行かないということは問題かもしれないが、いや大きな問題だと思うのですが、それを市のお金をかけてやっているわけですから、で、それが観光に寄与するとか、茅野市の知名度が上がるとかという面からいったら非常に大きな話だと思うんです。多少なりとも財政が厳しければ、そういうやり方もあるのかなと。 そのことに関連して、先ほども申し上げましたけれど現在、市が進めている行財政改革の中は、市民にお話を伺う機会として、行財政審議会という、機関で検討いただいております。そういった委員の皆様からも、やはりいずるを制するということも重要だけれど、歳入確保ということも、同時に考えなければいけないということをおっしゃっていただいております。そういった中で、市全体の使用料の見直しに、実際今着手を始めているところです。今、委員さんおっしゃるようなご意見もちょうだいしております。慎重にそこは議論を進めなければいけないということで、庁内でも検討に入っているところで、私が一番心配しているのは減免制度のところであります。何でもかんでもやはりいただくということが、いいことではなくて、特に社会教育関係の施設については、生涯学習の確保という観点からも、闇雲に料金を上げるというのはいかなものかというのは、教育委員会の立場としてですね。申し上げさせていただいているところであります。そこは慎重に議論を進めるべきだということで今検討をさせていただいておりますけれど、やはり、こういった社会教育の関係の皆様からですね、学ぶ場のところについては、しっかりとした意見をいただければ心強いなというふうに私は感じているところであります。 今、尖石縄文考古館について、そういった観点でのお話もちろんあるかと思いますが、中央公民館ですとか、八ヶ岳総合博物館ですとか、料金を上げると、きっと来ないだろうなというところもありますので、そういったところについては、温かい目で見守っていただければなと思っていますところでございます。よろしくお願いします。
委員	もちろんそのとおりです。私が今申し上げたのは、市民が少ないという話があったものですから、何かその対策がとれるのかなと、市民が少ないというのは、おそらく1回見てしまうとなかなか次に見にいかない。科博、東博に何回も行くのは企画展がすごくいいわけです。その辺は、なかなか1回見て、次にとなると確かに足が遠のくのかなと。本当に美術館がよく変えたりする。そこら辺なんかやっぱり工夫が必要なのかな。
委員	入館料の話ですが、県外からいらっしゃるお客様たちの分は上げたかどうか。市民に関しては市民割引で500円のままして、県外の方は700円にしてもいらっしゃると思います。市民に使いやすくということを考えれば、別に同じでなくてもいいのではないかと思います。
委員	市民の方の参加とか、見学とかに対して、県外からいらっしゃる方の見学とかそういう話になった中で、八ヶ岳総合博物館ですね、市民研究のための研究も活動の場になっていて、大変、素晴らしいと思っている所です。

	が、逆に県内から来ていただいた方が立ち寄っていただけるような取組がなんか少しあればいいかなと思います。大変いい展示なのですが。毎回同じことを言って恐縮ですけど、ここまでどうやってくるのか、足の問題をいつも気にしています。のらぎあに乗れば来られるのですが、観光案内所で皆さんにご案内している中で尖石縄文考古館、これはまだいいんですよ。1日に3本バスがある。3本しかないのと逆に言われるのですが。そのバスで行ってもらえれば、ちょうど1時間後に上に行って戻ってこられます。1時間では短いという方もいますが、次のバスだと間が空いてしまうのでどこでご飯食べればいいのかという話になる。そういう交通の足の問題ね。それから神長官守矢史料館、大変いい場所にございましてね。前宮と本宮のちょうど中間なんです。前宮へどうやっていくのとか本宮へどうやって行くの、バスないんですかという話になりますが、タクシーで行っていただいて申し訳ありませんけど前宮から本宮の間、ゆっくりお歩きください。ちょうど中間に神長官守矢史料館がございまして100円です。大変すばらしい展示ですし、建物自体も側にあります藤森茶室と同じ藤森先生の作品ですとご紹介すると、皆さん必ず行ってくさっていると思います。そういう、そのロケーションの問題ですとか、交通の便ですとか、それは市民に対しても同様の話ですが、八ヶ岳総合博物館の展示など、県外から来てくださるお客様に工夫ができないかなと思います。
文化財課長	交通の面ですね、私たちも何とかしたいと思っておりますが、ただ、私たちは何もできないので、現状でお願いしますとしか申し上げられません。昨年の9月から12月末まで、文化財課の施設3館の周遊券を販売しましたら、70枚ほど出ました。団体割引料金で入館できるため、230円お得ということで売り出しました。今年もやっております、そこそこ売れております。縄文だけでなく、縄文時代の人たちが、八ヶ岳山麓に広がる豊かな自然があったからこそ生活することができた、栄えたのだということを八ヶ岳総合博物館で見てもらい、縄文とダイレクトに繋がらない部分もあるのですが、神長官守矢史料館には「守矢文書」というとても貴重な文化財がありますので、周遊券を使って3館を回ってもらいたいと思っております。
委員長	よろしいでしょうか。では、次に、八ヶ岳総合博物館について、事務局から説明をお願いします。 (2) 八ヶ岳総合博物館の現況について【資料2】 八ヶ岳総合博物館館長から現況について説明 (※施設を説明しながら現況を確認)
委員長	館長さんに大変丁寧なご説明をしていただいて、興味深く楽しく聞かさせていただきました。何か質問等ございますか。
委員	解説をぜひ、聞けるような形で、私、博物館に行くと解説に500円払いますが、解説を聞いて回るのとではぜんぜん違うので是非とも予算化をお願いします。

博物館係長	展示物のところに QR コードがついていたと思います。生解説は館長がしますが、スマホなどで QR コードを読み取ってもらうと、その場で YouTube による解説を聞くことができます。ご自身のスマホがない場合は、アイパッドの貸し出しがありますので、良かったらお使いください。
委員	もう 1 点、クラウドファンディングをやったら、1 億から 7 億集まったという話がありました。八ヶ岳総合博物館なんかでもそういう手もあるんじゃないかな。それからもう 1 点、昨日の日経に茅野市のスタートアップ企業の割合が、長野市と松本市より多かったという話載っているんですよ。一番は軽井沢らしいですが、長野市、松本市よりスタートアップ関係が多いということは、必ずしも社会教育だけじゃないんですけど図書館とかでサポートをするとかですね。そういうこともできるのではないかなと思うので、ぜひ茅野市の特色を生かしていただきたいと思います。
委員長	よろしいでしょうか。それではその他に移ります。事務局からよろしくお願いします。 6 その他 事務局より研修の実施について説明 ・令和 6 年度長野県社会教育研究大会の事例発表について
委員長	意見がなければ内容について、事務局一任でよいでしょうか。 (事務局に一任)
生涯学習係長	委員長と相談しながら決めさせていただきます。
委員長	委員の皆さんから何かございますか。 (意見なし)
副委員長	7 閉会 それでは以上をもちまして、令和 5 年度第 2 回茅野市社会教育委員の会議を閉会といたします。 ～午前 11 時 50 分 会議終了～